

凍結抑制効果を有する表面処理工法

フリーズオフコート

FREEZE OFF COAT



凍結防止剤の散布無しでも効果を発揮する、局所的な凍結抑制対策です。



本店 〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL:03-5487-0011

[HP] <https://ssl.maedaroad.co.jp/> 事業所一覧▶



フリーズオフコート

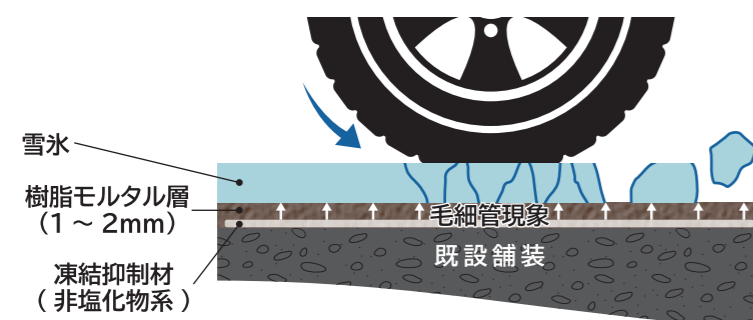
フリーズオフコートとは

既設・新設問わず、表層の直上に凍結抑制材とモルタルから成る層を構築する凍結抑制効果を有する表面処理工法です。

塩化カルシウム等の凍結防止剤を散布しなくても、モルタル層より染み出る非塩化物系凍結抑制材と車両の通行により、凍結抑制効果を発揮します。アスファルト舗装とコンクリート舗装の両方に適用することが可能で、2シーズンにわたって凍結抑制効果が持続します。

2シーズン目以降は、重ねて表面処理を行うことで、長期的な効果を維持する事ができます。

氷をはがす仕組み



氷着を抑制し、凍結の除去を促進

モルタル表面に凍結抑制材がしみ出ることにより、氷点降下作用により氷着が抑制されます。タイヤ走行の衝撃により、圧雪や氷膜が除去されやすくなります。

Point 気温が $-5 \sim 0^{\circ}\text{C}$ の時に最も凍結抑制効果が表れやすくなっています。

凍結抑制効果



タイヤ走行により氷膜が除去され、安全な道路を提供できます。

予期せぬ凍結に、

“ピンポイント”

凍結防止剤散布無し / 凍結抑制対策

フリーズオフコート 4つのメリット

01. 凍結防止剤の事前散布判断が必要ない

凍結防止剤散布無しでも効果発揮するため、初雪や仲春など予期せぬ降雪予報の際、凍結防止剤の事前散布判断に迷う必要がありません。

02. 効率的な凍結抑制対策

危険箇所に対して局所的な凍結抑制対策をすることで、効率的に事故リスクを低減することができます。

03. 低コスト工法

表面処理工法のため、既設舗装の撤去や打ち換えが必要ありません。そのため、従来工法と比べて最も低コストで施工できます。

04. 道路附属物への塩害抑制

金属腐食を引き起こさない非塩化物系の材料を使用しているため、ガードレールや標識への、塩害発生を抑えることができます。

推奨する適用箇所

- 1) 車両の減速、停止が要求される箇所
カーブ、下り坂、交差点付近
- 2) 路面状況の変化が著しい箇所
トンネルの出入り口付近、消融雪施設の背後部
- 3) 特に凍結しやすい箇所
橋りょう部、建物や高架などにより日陰となる箇所